

# 相続・遺言について調べる

香川県立図書館調べ方ガイド NO.3  
平成30年12月（令和4年3月改訂）

亡くなった人の財産を引き継ぐ「相続」は、財産の多寡に関わらず誰もが直面する可能性のある問題です。図書館にも「相続についての本はありますか？」といった質問がしばしば寄せられます。今回は、香川県立図書館の蔵書から、相続や遺言について調べるために役立つ資料を紹介します。

## 1 相続についての本

◎相続についての図書は、一般資料コーナーの**書架番号12**にあります。  
分類は「324.7」件名は「相続法」です。

『これ一冊で安心相続の諸手続き・届出・税金のすべて21-22年版』ナツメ社 2021  
《32470/H11/1-8》  
遺産相続の基本的な知識や法律上の手続き、相続税の申告書の作成などが詳しく解説されています。

『相続と遺言のことならこの1冊 はじめの一步』第8版  
飯野たから／ほか執筆 自由国民社 2018 《32470/17/1-7》  
知っておくべき相続の知識、望ましい遺言の書き方がわかりやすく解説されています。

『新しい相続のルールがわかる！ 相続法改正を司法書士がやさしく解説』改訂改題版  
日本司法書士会連合会／編 中央経済社 2017 《32470/N13/1-2》  
相続法の改正について司法書士が図表やイラストを用いて、やさしく解説しています。

◎相続税についての図書は、一般資料コーナーの**書架番号15**にあります。  
分類は「345.5」件名は「相続税」です。

『自分でできる相続税申告』 福田真弓／著 自由国民社 2017 《34550/F4》  
「遺産は自宅と金融資産だけ」「特例を使えば相続税はかからない」という人に向けて、自分で相続税の申告書をつくれるよう、わかりやすく解説しています。

『ゼロからはじめる相続必ず知っておきたいこと100』  
深代 勝美／編著，深代会計事務所／著 あさ出版 2020 《34550/F2/1-2》  
節税、遺言、贈与など、相続に関する疑問に必要なポイントにしぼって、コンパクトに解説しています。

## 2 遺言についての本

◎遺言についての図書は、一般資料コーナーの**書架番号12**にあります。  
分類は「324.7」件名は「遺言」です。

『終活にまつわる法律相談 遺言・相続・相続税』3訂  
安達敏男／ほか著 日本加除出版 2019 《32470/A6/1-3》  
終活、遺言、相続人、相続財産、遺産分割、相続税について、Q&A形式で分かりやすく解説。遺言書等の記載例もあり。

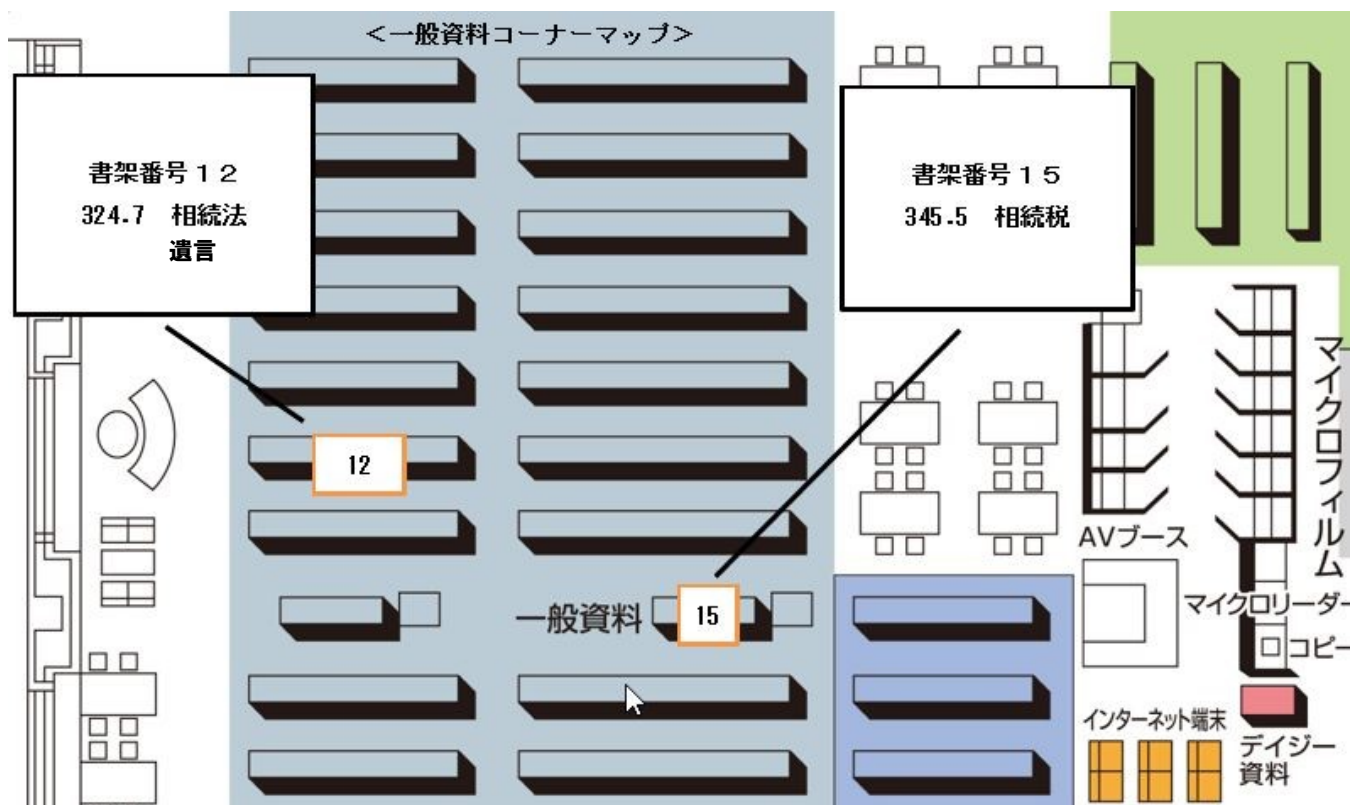
『高齢期を安心して過ごすための「生前契約書+遺言書」作成のすすめ』新版  
後東博／ほか著 日本法令 2020 《32477/G1/1-2》  
生前契約書の必要性や遺言書との関係などを解説。書式サンプルを収録。

『わかりやすい遺言書の書き方 老活弁護士が教えます!』  
大竹夏夫／著 週刊住宅新聞社 2016 《32447/03/2》  
相続専門の弁護士が丁寧に教える、「遺言書」の書き方の本。

『遺言モデル文例と実務解説』改訂版 満田忠彦／ほか編 青林書院 2020 《32477/M5/1-2》  
遺言の主要な文例と留意点を公証人が端的に解説。

『遺言の書き方と相続・贈与』令和版 主婦の友社／編 主婦の友社 2019 《32477/S3/1-2》  
遺言書の書き方、相続・贈与の基本を事例とともにわかりやすく解説。

『自分で書く「シンプル遺言」』竹内 亮／著 講談社 2020 《32477/T8》  
思い立ったらすぐ書ける「シンプル遺言」の書き方を解説。



※法令には法改正があり、書籍に掲載された情報が現在の最新情報でない場合があります。  
ご注意ください。

※図書館では資料や情報の提供は行いますが、法律相談には応じておりません。